

ドイツの養豚場でアフリカ豚熱発生！

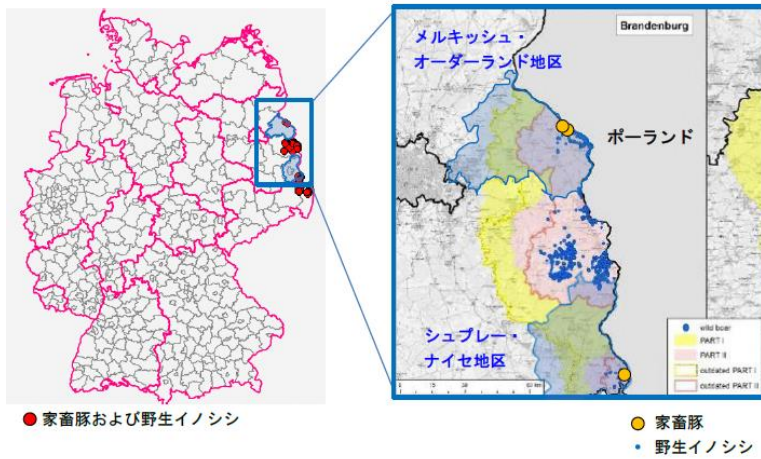
- ・2021年7月16日 ポーランドとの国境沿いドイツ東部ブランデンブルグ州において家畜豚におけるアフリカ豚熱 (ASF) 発生。
- ・同州では昨年9月以降、野生イノシシにおいてASF多発。
- ・今回がドイツでの家畜豚の初発。

- 1例目：繁殖農場 313頭飼養
- 2例目：小規模農場 2頭飼養
- 3例目：小規模農場 4頭飼養

ドイツでの発生

(2021年7月19日現在：農水HPより)

- ・初発生：2020年9月9日（野生いのしし）
- ・豚 3件、野生いのしし 1572件発生
- ・直近の発生：2021年7月17日



地図出典：Tier Seuchen Information System (TSIS)、欧州委員会ウェブサイト

※昨年9月の野生イノシシにおける発生を受けてドイツからの豚、豚肉等の輸入を一時停止しており、現在も停止中。

アジア諸国での発生も続いており、国内侵入の恐れがある疾病です！

★自分の農場を守るため飼養衛生管理基準遵守等の再徹底をお願いします！

- 毎日の健康観察と、早期の通報・相談
- 野生動物の侵入防止対策の徹底
- 適切な洗浄・消毒
- 豚の農場内の移動の際の、衛生対策の徹底



農水HPより

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

ご不明な点がございましたら以下までお問い合わせください。
中央家畜保健衛生所：電話番号058-201-0530